

アンダーヘア
BOOK



ゴワゴワ、黒ずみ、どうしよう! ?
困ったときのアソコ110番!

➡ 【ロワコフ、黒ずみ、どうしよう!? 困ったときのアソコ110番!】

スゴイことになっちゃってたんですよ。
いやね、どこがって...そう、毛のことですよ、毛、ムダ毛。夏になったからハイ、毛を処理しましょう、では間に合わない。毛の処理ってものは、まだまだ肌寒いうちから始めなくっちゃならないんですね。そこでワタクシも夏に照準を合わせて始めようと思って、レーザー脱毛。このレーザー脱毛ってのは、肌の色に対してもっと色の黒い部分に反応して、毛のおおもとを焼いちゃうっていう方法。つまり地グロで肌の色と毛の色の違いが少ない場合、うまく反応しないってことじゃない! じゃあ何? ワタクシの場合完全に脱毛は無理なんですか。ハイ、無理なんだから。ふうん、なんだかさびしいわね。
さて、毛といえば、ちょっと前に大人気を博していた海外ドラマ「セックス・アンド・ザ・シティ」では、NY在住の主人公たちがロサンゼルスを訪れて、脱毛してみたらびっくり、全部なくなっちゃった、っていうエピソードがあったけど、ロスでは本当にそうなんだ、と思ったのよこの間。アメリカ人セレブの毛ゴシップネタで盛り上がっていたことがあったじゃない? なんでも、パリス・ヒルトンが下の毛を処理した同じサロンで、プリトニー・スピアーズも処理したとかで。その処理の仕方が、もうすべて取っちゃうっていうもの。超潔癖社会のロスでは当たり前なかも知れないけど、見える部分だけでなく、奥~のほうまですべて脱毛しちゃうみたいなの。そのせいで、アソコはもう見せちゃっても大丈夫なキレイな場所! という思い込みというか刷り込みというか暗示にかっっちゃうみたいなのよね。パリスもプリトニーもノーパン、ミニスカートで大股開きは当たり前、とくに離婚直後で

つねにパパラッチにつけまわされている状態だったプリトニーは開脚写真を撮られまくり。ま、二人とも金髪だからね、もともと肌も白いし、アソコもきれいなのかもね。だからってご開帳はどうかと思うけど。ちなみに、毛の一部は残しておく「ブラジリアンワックス」という一般的な方法ではなく、この全部なくしちゃう脱毛方法は、フランスのエステ業界では「USA」って呼ぶらしいのよ。なんだからいぶん乱暴な名称な気がするわね。

結局、ワタクシの地グロ問題はどうにも解決はしないんだけど、個人的にはあんまり激しい脱毛はどうかと思うわ。だって、黒い毛で地グロときたら、せめてその部分は毛でカバーしておいたほうが安心して見られない? 毛を全部取っちゃうことで別のクロさが目立つ、なんて悲しくない? もともとあるのが当たり前の毛なんだから、そのへんはアリ、にしておいて、せめて下着からはみ出ない程度に美しくこじんまりと収めたいじゃない。

と、いうことで、エステのおねえさんに、「はみ出なければイイです」とお願いしてみたのよ。すると、「お客さまの場合...そうですね、それでも地肌の色がちょっと...。」だって。よくよく見てみれば、なんとなく、薄黒い。イヤ。なんかイヤ。こんな明るい照明の下だからよ! と自分をこまかそうかとも思ったけど、そこにはどうにもならない現実が薄黒く鎮座してるのよね。明るいところで見られるかも知れないと思うと...ひいひい。問題は毛だけじゃない! スゴイことになっちゃってるのは、毛だけじゃないのよ! 美白エキス塗るとか、肌が白くなる食べ物見つけるとか、いっそくすみの消しゴムみたいなの、ないのかしら? 魂の叫びだわよもう! 